

第1回

1級

例題
(1級)

漫画技法検定

試験問題

(制限時間 180分間)

《注意事項》

1. 合図があるまで、問題用紙を開かないで下さい。
2. 試験委員の指示をよく聞いて下さい。
3. 受験票および下記の画材以外のものは、机の上に出さないで下さい。
下描き用 鉛筆(シャープ可)、消しゴム
ペン入れ用 つけペンセット(ペン先・ペン軸・インク)、ミリペン、フェルトペン等
ベタ塗り用 筆ペン、面相筆、墨汁、油性マジック等
ホワイト ミスノン、ホワイトインク、修整ペン
トーン スクリーントーン(指定のもの)、カッター、デザインカッター
4. 解答は決められた用紙の枠の中に描画して、正しく使用してください。
5. 公開会場受験の方は試験中に受験票を回収いたしますので通路側の机の上の部分に置いてください。
6. 解答用紙は試験終了後に回収いたします。折り曲げたり汚したりしないでください。

1 級 - 漫画技法検定課題

次ページは、タイトル「ラブレター」の中の一シーンです。ラフ（ネーム）の人物をオリジナルキャラクターに変えて1ページ原稿を完成させなさい。

登場人物

正夫（主人公） 高校1年生

優希（正夫のクラスメート） 高校1年生

翔太（正夫のクラスメート） 高校1年生

シナリオ

高校1年生の正夫が同じクラスの優希にラブレターを渡そうとしました。しかし正夫は優希に自分からのラブレターだと言えませんでした。優希は正夫がラブレターを代理で渡すように頼まれたと勘違いして二つに破ってしまいます。初めてのラブレターで、ちゃんと本人が渡してくれたら前向きに考えるという優希から、照れて破れた片方のラブレターを奪って逃げだしてしまいました。優希の手元には破れた片方のラブレターが残りました。その時のことを友達の翔太に話しながら悔やんでいます。

先日、優希と正夫の間には次のようなやり取りがありました。

優希「このラブレターは誰からなのよ」

正夫「それはいえない」

優希「誰かに頼まれたのね、渡してこいって」

正夫「そ そんなところだ」

優希「あっそう」「それじゃ」

ラブレターをおもいきり破り捨てる優希

正夫「あー」「何すんだよ 破くことないだろ」

優希は怒った表情で

優希「だってラブレターを代理人に頼むなんて男らしくないよ」

「受け取れない」

優希「ばかよね」「生まれて初めてのラブレターだから」

「前向きに考えたのにさ」

正夫「そ…そうだったのか」

正夫「いまさら俺だっていえないよな」

真っ二つに破れたラブレターの片方を奪い取り

慌てて走り去る正夫。もう片方は優希の手元にある。

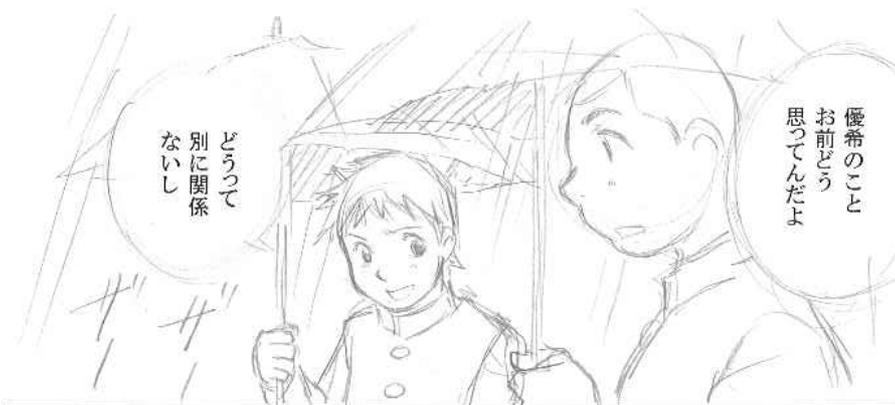
今、正夫と翔太は雨の中を歩きながら、優希のことを話しています。

正夫は先日ラブレターを破られたことを思い出しては後悔していますが、ただ翔太は、優希が「実はすごく優しくて」「本当はお前が好きらしい」と言う。

正夫は「マジか!」「本当なのか」と大喜びをしています。

次のラフ（ネーム）を参考に完成原稿を作ってください。

- 指示 1 工程は、コマ割り、下書き、ペン入れ、ベタ塗り、消しゴムかけまでの工程とします。
- 指示 2 トーンを適切に利用して紺の学生服を表現して下さい。
- 指示 3 雨降りに傘をさして歩いている様子を描いてください。
- 指示 4 洋服は学生服とします。
- 指示 5 優希の髪の長さ等は変えても構いません。
- 指示 6 コマ数、コマ割り、セリフを変更しないで下さい。
- 指示 7 先日のラブレターを破られた回想シーンを適切に表現して下さい。
- 指示 8 優希が本当は優しい様子を表現しなさい。
- 指示 9 翔太から「優希が「本当は正夫が好き」と言われてビックリした様子を集中線を使って表現しなさい。



[解答用紙]